

公共図書館からみたがん相談 支援センターとの連携の意義

2016年1月25日

九州・沖縄地区 図書館&がん相談支援センター
連携ワークショップ

田村俊作

(慶應義塾大学名誉教授)

私のお話

1. つなぐ図書館：図書館がなぜ医療や健康に関わるのか
2. がん相談支援センターとは？
3. 両者が連携する理由：図書館とがん相談支援センターが連携するとどんな良いことがあるのか

1. つなぐ図書館 公共図書館とは？

- 図書館法（昭和25年法律第118号）により設置
- 地方自治体（都道府県，市区町村）が設置する公立図書館と，一般社団（財団）法人が設置する私立図書館がある

公共図書館概況(2014年)

- 図書館数 3,246館
- 蔵書数 423,828千冊
- 年間来館者数 318,672千人
- 年間個人貸出冊数 695,277千冊

日本の図書館統計 公共図書館集計(2014)

<http://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai> (Accessed 2016-01-07)

公共図書館はどんな場所？

(1) 本のある場所

- 図書館は何よりもまず，本を読むところ
- いろいろな本が置いてあり，誰でも気軽に立ち寄って，好きな本を利用できる

(2) 誰でも気軽に立ち寄れる場所

- あらゆるジャンルの本が置いてある。本の利用に目的は問わない
- 自治体が提供してくれるので、安心して利用できる

• 利用者の声(1)

KUF: [ビジネス支援というと]商工会議所関係なイメージでしたよね. だから逆に商工会議所でなく図書館でやるので安心っていうんですか? 他の方も誰かおっしゃってましたよ. 商工会議所でやるとお金がどこから借りなさいとか, 絶対起業するのね, みたいなこと言われちゃいそう. (略) 図書館でやるビジネスセミナーだと, ちょっと起業したいかなっていう軽い, いずれはしたいかな, と. もしかしたらしないかな, と思ってもとりあえず聞ける

(ビジネス支援サービスの利用者への聞き取り調査から)

- 利用者の声(2)

KUC: [「行き慣れているから敷居が低く感じるのでは」という問に対して][それもそうだが]誰でも入れるわけですし、信用もありますよね、市がやってるから

(ビジネス支援サービスの利用者への聞き取り調査から)

(3) 専門情報への全方位の入口

- 図書館に置いてある本は、読んでおもしろい本、教養や視野を広げてくれる本だけではない
- 私たちが生きていく上で必要な知識や知恵を教えてくれる本もたくさん置いてある
- 地図、旅行ガイド、料理の本、編み物の本、コンピュータの本、ガーデニングの本
- 専門情報を効率よく検索できるデータベースなどもある



岩手県紫波町図書館





資料を活用した情報提供(レファレンスサービス) (福井県立図書館)

最近のレファレンス事例(更新順)

- 「王は大を待たず」という文の「大」はなんと読むのか。
- 16世紀ごろの画家シャルダンの静物絵画の一部が写ったコピー紙を持っている。この作品の全体が載っている画集が見たい。絵画の作品名は不明。絵画で描かれているのは、フラスコ、杯、果物など。
- 肝臓がいいと書かれている「垂盆草(すいぼんそう)」の写真が見たい。 
- 「武満徹著作集」1～5巻のいずれかに、「雨の樹素描2」というタイトルの文章が入っているか確認してほしい。
- 福井の伝統的な祭りで観光客の多いもの3つを知りたい。
- 子どもの難病の本 
- 昔の福井の婚礼料理の写真を見たい。福井のものがなければ他県のものでもよい。『福井市史資料編13、民俗』p134に、婚礼の祝宴で、一のぜん、二のぜん、本ぜんと説明してある。そのような料理の写真が見たい。
- 道元・著「正法眼蔵」のなるべく原文に近いものを知りたい。道元真筆の原書が、どのような体裁であったか確認したい。
- 王遵の漢詩「長城」が出ている本がないか。
- 鉛筆の筆は「ひつ」と読むのに、万年筆の筆は「ひつ」なのはなぜか。留学生が「まんねんひつ」と言っていたので「まんねんひつ」だよと指摘したら、上のような疑問を口にした、とのこと。

調べ方の道案内 (福井県立図書館)

パスファインダーNo.29

作成：福井県立図書館 平成 22 年 1 月 29 日

福井県の神社・寺院を調べるには

福井県内の神社、寺院を調べるときに役立つ資料を紹介します。

神社、寺院名で検索しても資料が見つからない場合は、下記資料を参考にしてください。

1. 総合事典・名簿類

- ①『近江・若狭・越前寺院神社大事典』（平凡社／編・発行 1997 H180/シソ）

索引地図、縣市町村別索引あり。

- ②『日本歴史地名大系 第 18 巻：福井県の地名』（平凡社 1981 H290/H23/1）

- ③『角川日本地名大辞典 18 福井県』（角川書店 1989 H290/N12/1）

- ④『福井県宗教法人名簿』（福井県総務部／編・発行 H165/H2/3）

宗教法人とは、宗教法人法（昭和 26 年法律第 126 号）に基づき、文部科学大臣または都道府県知事の認証を受け、法人格を取得した宗教団体のこと。宗教法人名、所在地、代表者、登記年月日を記載。昭和 42,48,58,平成 9 年版を所蔵。

- ⑤『福井県神社仏閣一覧録』（婦人評論社 1952 H165/H/1）

- ⑥『若狭管内社寺由緒記若州管内社寺什物記』（若狭地方文化財保護委員会 1958 H165/D/1） 大飯町村松家所蔵本の翻刻。

- ⑦『福井県大百科事典』（福井新聞社 1991 H030/H/1）

当然医療や健康に関する本もたくさんあります

例えばこんな本やパンフレットがあります

- 病気の診療についてわかりやすく解説した本
『患者さんのための乳がん診療ガイドライン』2014年版（日本乳癌学会編 金原出版 2014）
- 実際に病気にかかった人の体験記(闘病記)
『闘病記専門書店の店主が、がんになって考えたこと』（星野史雄著 産経新聞出版 2012）
- 病気や薬について書かれたパンフレット
『がんの冊子 がんと療養シリーズ206 もしも、がんと言われたら』（国立がん研究センターがん対策情報センター 2012）

- 食事の本, 料理の本など病気に関連して必要になる情報を提供してくれる本
- さらに死んだ後のことについて書いた本も
葬儀, 遺産相続

(4) 連携によるサービスの充実へ

- 図書館が持っているのはいろいろな分野の入門的な本, 情報。関係者や関係機関と連携することで, その特徴を活かして一層地域の役に立つ充実したサービスを提供できるようになる

両方の特長を活かしたサービスを共同で提供できる

図書館: 蔵書やサービスについていろいろな分野の関係者, 関係機関から助言を得ることができる。図書館では対応できないような相談を紹介することができる

関係者, 関係機関: 利用者の役に立つ本や資料を紹介できる。自分たちのしごとを紹介する場になることができる

例えばこんな連携があります

- 紫波町図書館と農業関係団体との連携



紫波町図書館





紫波マルシェの野菜に、レシピと
図書館の本を紹介するポップが



もちろん、図書館には紫波マルシェ
とレシピ本の紹介コーナーが

2. がん相談支援センターとは？

- がん診療連携拠点病院(すべての都道府県に複数ある)に置かれている
- 誰でも相談することができる(病院にかかっている人以外でも可)
- がん専門相談員としての研修を受けたスタッフ(看護師, ソーシャルワーカー等)が相談にのる
- 信頼できる情報に基づいて, がんの治療や療養生活全般の質問や相談を受ける

3. 連携する理由：公共図書館とがん相談支援センターが連携するとどんな良いことがあるのか

(1) 公共図書館にとって

- 医療健康情報サービスの強力なサポーターとなってもらえる

専門知識を参照可能になることにより、次のような運営上の課題解決に役立てられる

- ・どんな本を選べば良いのか？
- ・健康医療サービスに関する研修を行ない知識を深めたいが、適当な講師は？注意すべき点は？

- 医療自体に係わり，図書館では扱えない事案が起きたときに，紹介できる
 - ・患者の家族から医療相談を受けた
 - ← 顔の見える関係を作っておけば，相談者に適切に案内できる

公共図書館ではすでに健康・医療情報
サービスがはじまっています
—日本図書館協会健康情報委員会が
2013年度に行ったアンケート調査から—

公共図書館における「健康・医療情報サービス」の実施状況

	回答件数	比率	
実施中	128	13.8%	15.4%
実施を決定し、 現在、準備中	15	1.6%	
検討したが実施を 見送った	17	1.8%	
実施するかどうか 検討中	101	10.9%	
未検討	665	71.7%	
未回答	2	0.2%	
合計	928	100.0%	

須賀千絵 第100回
全国図書館大会第21
分科会 明治大学,
2014-11-01

サービスの効果と課題

効果

- レファレンスや案内がしやすくなった(81.3%)
- 図書館のPRができた(53.1%)

課題

- 専門知識を持つ職員の確保・育成が難しい(64.8%)
- 選書が難しい(57.8%)
- レファレンス対応が難しい(57.0%)

(2) 相談支援センターにとって

- 病院の外にサービス窓口を作れる
 - ・専門機関の敷居の高さ → あらゆる人々に、目的を問わずに開放している施設
 - ・土曜日日曜日にイベントが開催できる
 - ・病院ではなかなかできないことができるかも？

(2) 広がる連携の輪

- 地域の多様な医療関係者が互いに連携することにより、地域で健康を守る態勢を作りうる
 - 患者図書室
 - 行政の担当者
 - 患者会
 - 等々, 等々

医療健康情報の提供に関わる多様な活動については、以下のご発表で